

青年の教会離れは、ますますひどくなっているように思われる。が、青年の側から見れば教会が青年からどんどん離れていっているように見えるぞうだ。この問題を抱えている教会は多い。来ない、来ないと嘆くよりも、何かをすることが必要なのではないか。しかし、だれが何をしたらよいのか分からない▼何年も前から青年の教会離れが叫ばれているが、その原因を青年自身や家庭、社会の側だけに押し付け

## 地の塩

て、教会はほとんど何も対策をとってこなかった。例えば、ミサ。青年会がどつこのつものというより、まず、ミサに参加

面白くない。何をやっているのか分からない。別に参加しなくてもいい。形にはまって、いろいろと「やらせられる」のは嫌、といったことをよく耳にする▼小教区制度の問題とかかかわってくるが、近隣の小教区合同の「若者のミサ」のようなものがあってもよいのではないか。確かに主日のミサに小教区が一つの家族として共に集うことは良いことであり、ぞうでなければならぬが、ただ理想を追いかけただけでは先の問題は解決しない▼若者にしつくり来るミサをしてはどうだろうか。それをするためには彼らの意見や感情を理解する必要がある。ぞうしつくり上げた典礼に参加することによって、ミサの真意をつかむことができるぞう。聖体の素晴らしさを体験すれば主日のミサにも進んで参加するに違いない。茶髪やピアスの若者たちと共にするミサは素晴らしいものになるに違いない。